

1. オーストラリア

■正式国名：オーストラリア連邦

Commonwealth of Australia

■政治形態：立憲君主制（国家元首は英国のチャールズ3世）

■面積：769.2万km²（日本の約20倍）

■人口：2,618万人

■言語：英語

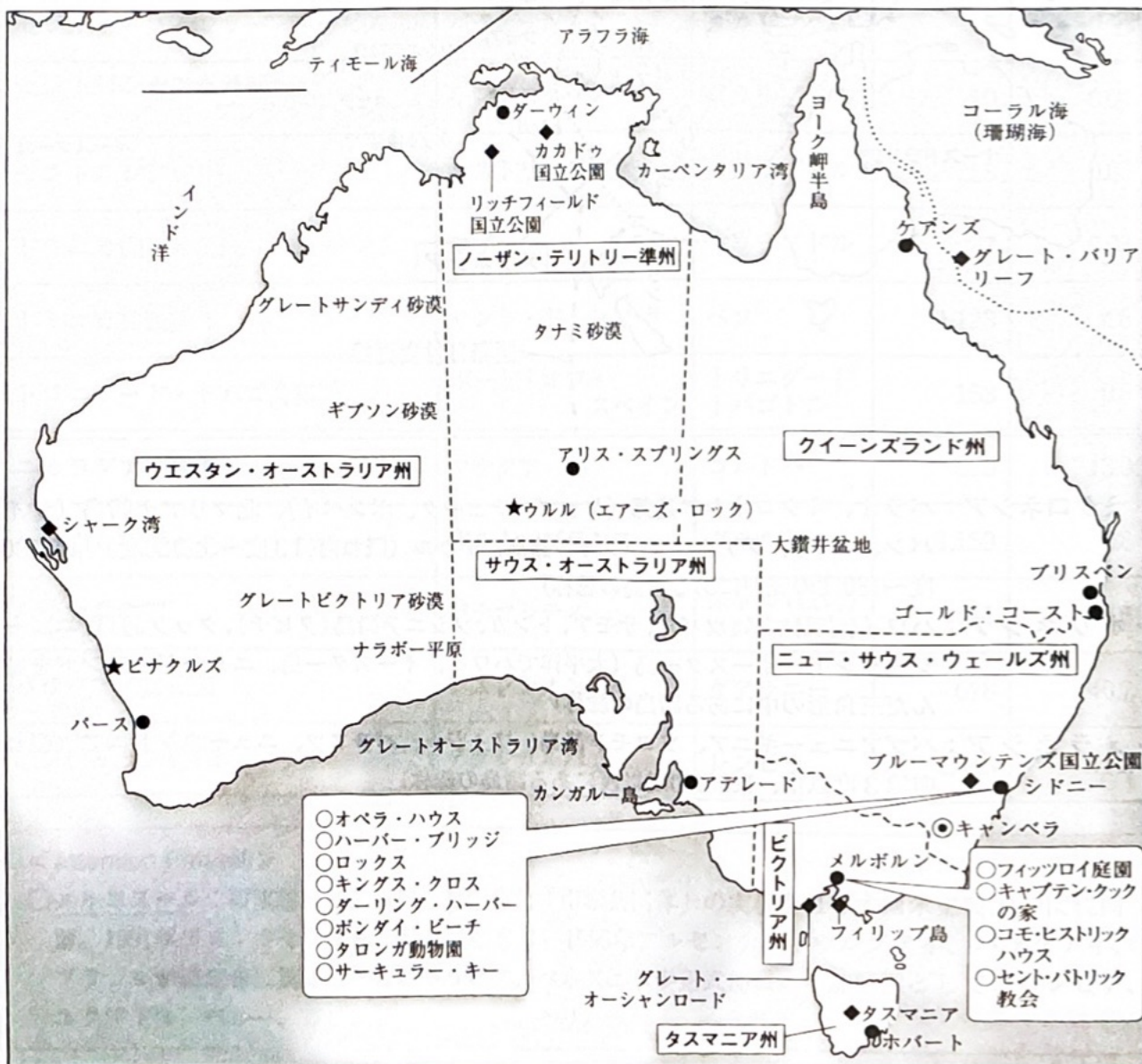
■通貨：オーストラリア・ドル（1オーストラリア・ドル=97.7010円）

■住民：ヨーロッパ系白人が中心、その他アジア系、先住民（アボリジナルピープル）など。1947年からの移民受入れ計画により、非イギリス系やインドシナ難民などの東南アジア人も増加。

■宗教：キリスト教が約43%、無宗教が38%。

■地勢：他の大陸に比べると地形は極めて単調であり、大陸の大部分は平らな高原を成している。大別すると、低い丘と広い谷が連なる中央低地、山脈というより断続的な高地を成す東部高地、大陸の3分の2を占め、そのうちの3分の1が砂漠となっている西部台地とに分けられる。また、全体に最も乾燥した大陸であり、北岸、東岸は多雨気候区であるが、その他の大部分はサバナ気候区である。

■気候：北部は亜熱帯性気候、南東部は温帯気候、西部は砂漠気候の特色を示す。



- 観光：グレート・バリア・リーフの島巡り。カカドゥ国立公園周辺の散策及びリバー・クルーズ。ゴールド・コースト・クルーズ。キュランダ観光鉄道（ケアンズ発）
- 名物料理：シーフード（バラマンディ、岩ガキ、マッドクラブ、クレイフィッシュ）。ラム、カンガルー、クロコダイル、バッファロー、エミューなどの肉を使った料理
- 土産品：オパール、コアラ人形、先住民族の工芸品、シーブスキン製品、プロボリス、ワイン
- アトラクション：国立公園でのブッシュ・ウォーキング。先住民族のダンスや楽器演奏。コアラとの記念撮影。マリンスポーツ（ダイビング、シーカヤック、パラセーリング）

●キャンベラ（Canberra）

シドニーとメルボルンの中間にあり、連邦政府直轄地区の北東部にある。1913年に建設に着手し、1927年の連邦議会議事堂の完成を機に正式に首都となった計画都市。市を南北に分けるバーリー・グリフィン湖、キャプテン・クック記念噴水、戦争記念館などが見どころ。人口45万人。

●シドニー（Sydney）

1788年にイギリス人が最初に入植したオーストラリア最古にして最大の都市。また、シドニー港は、世界3大美港のひとつにも数えられている。ニュー・サウス・ウェールズ州の州都。人口470万人。

○オペラ・ハウス／シドニーを象徴する建造物。湾に突き出た白い貝殻を重ね合わせたように見える屋根は、ヨットの帆をイメージしている。オペラやコンサートを鑑賞しなくても、ガイドツアーで内部を見学できる。2007年世界遺産登録。

○ハーバー・ブリッジ／オペラ・ハウスと並ぶシドニーの象徴。橋のアーチ（最も高い中間地点は海拔134m）の頂上まで歩いて登るブリッジ・クライミングが人気。夜間もライトアップされる。

○ロックス／シドニー発祥の地と言われ、歴史的建築物が並ぶ。現代美術館、レンガ造りの倉庫を改装したレストラン、おしゃれなカフェ、ショップが軒を並べる。

○サーキュラー・キー／シドニー湾に面する交通の拠点となる街。オペラ・ハウスとハーバー・ブリッジが一望できる港として人気が高い。

○キングス・クロス／24時間眠らない南半球最大の歓楽街と呼ばれている。中心にはフィッツロイ・ガーデンという小さな公園があり、クジャクが羽根を広げたように見えるエルアラメインの噴水が有名。近くにはおしゃれなホテルやレストランのある「ザ・ワーフ」としてよみがえった「ウルムルー埠頭」がある。

○ダーリング・ハーバー／建国200年を記念して大規模な再開発が行われ、ショッピングセンター、博物館、水族館、屋内型動物園、コンベンション施設などが集まる観光スポットとなった。

○ボンダイ・ビーチ／市民や観光客に人気のビーチ。サーフィンのメッカとしても知られる。芝生の公園に囲まれ、バーベキューやピクニックに最適。散歩やジョギングを楽しむ人も多い。

○タロンガ動物園／シドニー最古の動物園（1916年開園）。29haの広い園内には380種2,200頭の動物が集められている。丘の上にあるため、眼下には市街と海を眺めることができる。

◆ブルーマウンテンズ国立公園（Blue Mountains National Park）

シドニーの西約80kmにある世界遺産登録の国立公園。ユーカリの森が広がり、先住民族の伝説が残る3つの奇岩スリーシスターズなどの自然を堪能できる。標高差415mの急斜面を滑り落ちるように走るトロッコ列車も人気。

●メルボルン（Melbourne）

シドニーに次ぐオーストラリア第2の都市であり、ビクトリア州の州都。連邦結成当初の1901～27年の連邦の首都である。1956年には夏季オリンピックが開催された。英国文化の影響を受けた町並みと情緒あふれるトラムが走る。郊外約51kmのヤラバレーは、オーストラリアを代表するワインの産地と

して有名。人口459万人。

○フィッツロイ庭園／英国国旗の形に造られた緑豊かな庭園。キャプテン・クックの家、多くの花が見られる温室、ミニチュアの街イングリッシュ・チューダー・ビレッジが見どころ。

○キャプテン・クックの家／メルボルン市100周年を記念し、イギリスから運ばれてフィッツロイ庭園内に復元されたクックの両親が住んでいた家。クック自身も幼少期を過ごしたといわれている。

○コモ・ヒストリックハウス／オーストラリアの高級住宅跡で、1840年代から上流階級に所有されてきた。1959年にナショナルトラストの所有となり、当時のまま保存されている。主寝室、高級家具、舞踏室、ガレージ、広大な庭園が見どころ。

○セント・パトリックス教会／オーストラリア最大のカトリック教会。1939年に完成するまで90年以上かかった巨大なゴシック建造物。尖塔は高さ約105m、聖堂の奥行きは約92m。大きなステンドグラスとパイプオルガンも圧巻。

◆フィリップ島 (Phillip Island)

メルボルンの南東約140km、本土とは橋とフェリーによって結ばれているペンギン・パレードで有名な島。日没後に海から巣へ戻るペンギンの群れを観察できる人気スポット。リトル・ペンギンの保護・研究においても世界的に有名。

◆グレート・オーシャンロード (Great Ocean Road)

メルボルンの南西、ポート・キャンベル国立公園内の全長約260kmの海岸道路。石灰岩の断崖絶壁と「12使徒」と呼ばれる点在する奇岩群を眺めることができる絶景スポット。

◆グレート・バリア・リーフ (Great Barrier Reef)

クイーンズランド州の東海岸の沖合に連なる、南北約2,000kmに及ぶ世界最大の一大サンゴ礁であり、世界遺産に登録されている。周辺に約700もある島々のうち、主な観光の島はグリーン、マグネティック、ヘイマン、リンデマン、ヘロン、グレート・ケッペル、ハミルトンなどである。

●ケアンズ (Cairns)

クイーンズランド州の北東岸の都市であり、グレート・バリア・リーフへの空と海の玄関都市。エスプラネード（海岸通り）、ラグーン・プール、セントラル・ショッピング・センターなどが見どころ。アサートン高原の玄関口・キュランダに向かうキュランダ観光鉄道の出発地でもあり、この鉄道や、またスカイレール（ゴンドラ）に乗って世界最古の熱帯雨林があるバロン溪谷国立公園の景色を楽しむことができる。沖合にリゾートアイランド、グリーン島がある。人口15万人。

●ブリスベン (Brisbane)

オーストラリア第3の都市。クイーンズランド州の州都。南の海岸に広がるゴールド・コーストへの玄関都市でもある。ローン・バイン・コアラ保護区、マウント・クーサ展望台などが見どころ。人口229万人。

●ゴールド・コースト (Gold Coast)

クイーンズランド州の南東端部に位置し、南北約60kmに延びる細長い海浜リゾート都市。サーファーズ・パラダイスをはじめとするビーチのほか、鳥の楽園カランビン野鳥園、遊園地、動物園などが人気のスポット。人口61万人。

●アデレード (Adelaide)

サウス・オーストラリア州の州都。オーストラリア第5の都市。芸術祭の行われるフェスティバル・センター、クリアランド野性動物保護区、グレネルグ・ビーチなどが見どころ。また、南西海上のカンガルー島は貴重な生物の宝庫となっている。人口125万人。

●アリス・スプリングス (Alice Springs)

オーストラリアのほぼ中央に位置するノーザン・テリトリー南部（通称：レッドセンター）の中心都市であり、褐色の砂漠地帯にある。ロイヤル・フライングドクター・サービス基地があり、近郊ではラク

ダや気球に乗ることもできる。また、エアーズ・ロック空港への乗換都市として、多くの観光客が訪れる。

★ウルル（エアーズ・ロック）（Ayers Rock）

アリス・スプリングスの南西440kmにある。ウルル・カタ・ジュタ国立公園（1987年世界遺産登録）内にあり、先住民族が「ウルル」と呼ぶ世界最大級の単一岩。周囲約9km、地表からの高さ348m（標高868m）。太陽の移動に伴って色が変化して美しい。岩肌には先住民族の壁画が描かれ、今も聖地として崇められている。（登山禁止）30km西にはカタ・ジュタ（オルガ山）がある。

◆タスマニア島（Tasmania）

オーストラリア大陸の南東方にある同国最大の島であり、同名の州を構成している。州都はホバート。1642年にオランダ人タスマンが来航し、19世紀初めまでイギリスの流刑植民地であった。夏の避暑地・保養地で、自然の宝庫である。クレイドル山、ホバートの旧市街バッテリー・ポイントなどが見どころ。タスマニア島の上に生息する野生動物のタスマニアン・デビル（世界最大の肉食有袋類、別名フクロアナグマ）でも有名。

●パース（Perth）

オーストラリア南西部、インド洋に面する同国第4の都市。ウエスタン・オーストラリア州の州都でもある。河口に開けた港町フリーマントルは港湾・工業地区であり、1987年のアメリカズ・カップ・ヨット・レースの開催地として有名。市のランドマークのベルタワー、珍しい野鳥や動物が生息するキングス・パーク、州のシンボルとされるブラックスワンなどの水鳥が集うモンガー湖が見どころ。市の北約250kmにあるナンバン国立公園にあるピナクルズは、広大な砂地に平たく大きな岩石が無数に並び、「荒野の墓標」と呼ばれる景観である。また、パースの沖合にリゾートアイランドロットネスト島がある。世界遺産「シャーク湾とモンキーマイア」観光の拠点でもある。人口204万人。

●ダーウィン（Darwin）

ノーザン・テリトリーの州都。港湾都市であり、北部オーストラリアの物資集散地。原始の自然が多く残る南国の地である。カカドゥ国立公園（世界複合遺産）、リッチフィールド国立公園への玄関都市でもある。

<Attention Please!!>

○オーストラリアの横断・縦断列車：

- ①シドニー～パース（4,352km）のインディアン・パシフィック号
（途中のナラボー平原では、476kmの世界最長の直線線路が敷かれている。）
- ②アデレード～ダーウィン（2,979km）のザ・ガン号
- ③メルボルン～アデレード（828km）のジ・オーバーランド号
- ④ブリスベン～ケアンズ（1,681km）のティルト・トレイン（スピリット・オブ・クイーンズランド号）



オペラハウスとハーバーブリッジ



ウルル（エアーズ・ロック）

2. ニュージーランド

■正式国名：ニュージーランド（ポリネシアに属する）

New Zealand

■政治形態：立憲君主制（国家元首は英国のチャールズ3世）

■面積：27.5万km²（日本の約72%） ■人口：519万人

■言語：英語、マオリ語

■通貨：ニュージーランド・ドル（1ニュージーランド・ドル=88.4730円）

■住民：ヨーロッパ系白人が67.7%のほか、ポリネシア系マオリ人、アジア系など。人口の約70%が北島に住む。

■宗教：キリスト教が約32.3%、無宗教が51.5%。

■地勢：北島と南島からなり、北島は北東に東部山地、南島には島の南北に平行して西寄りにサザン・アルプス山脈がある。北島は火山カルデラ・湖・温泉が多い。南島は密林に閉ざされた山岳地帯がその大半を占め、降雨量が多い。また、最高峰のクック山（3,724m）など標高3,000mを超える山には氷河がある。

■気候：全般に西岸海洋性気候であり、夏は涼しく乾燥し、冬は温暖でしのぎやすい。



- 観光**：スキーツアー（クイーンズタウン、ワナカ周辺）。トンガリロ国立公園散策。タスマン氷河上のセスナ機飛行。ミルフォード・サウンドの湾内を観光船で一周する。ワイナリー巡り
- 名物料理**：マオリのハンギ料理（地面に掘った穴で素材を蒸し焼きにする）。クレイフィッシュ（ロブスター）。ブラフオイスター（冬期のみ南島で獲れるカキ）。ムール貝の蒸し煮。ラムやシカ肉のステーキ
- 土産品**：ウールやシープスキン製品。マオリの工芸品。ヒスイ。ルビー・ロック。パウア貝（虹色のカラフルな色彩の貝殻）のアクセサリー
- アトラクション**：エラズリー・フラワーショー（11月、オークランド）。タマキ・マオリ・ビレッジ（ロトルア）。バンジージャンプ（タウポ湖）。ラグビー観戦。スキー。野生動物観察（キーウイ、ペンギン）。温泉（北島中部）

[北島]

●ウェリントン（Wellington）

ヨーロッパからの移住者が到着した1840年に建設が始まり、1865年から首都となった北島の南端にある港湾都市。国会議事堂、奈良の大仏殿に次ぐ規模の木造建築である旧総督府、市街の展望台マウント・ビクトリア、ニュージーランド固有の文化や自然を学べる国立博物館テ・パパ・トンガレワなどが見どころ。人口22万人。

●オークランド（Auckland）

1839年からヨーロッパ人の入植が始まり、1865年まで首都であったニュージーランド最大の都市。北島の北部に位置する同国の表玄関都市。第1の工業都市であると共に港湾都市であり、多くのヨットが係留されていることから「帆の町」と呼ばれる。クイーン通り、南半球で一番高い高さ328mのスカイ・タワー、オークランド博物館、市街の展望が良いマウント・イーデンなどが見どころ。人口172万人。

●ロトルア（Rotorua）

北島の中北部にあり、世界でも珍しい地熱地帯にある観光保養地であるとともに、先住民族マオリ族が多く暮らし、彼らの伝統文化の中心地でもある。ロトルア湖、地熱地帯のテ・プイア（旧名ファカレワレア）とワイオタブ、清流にマスが群泳するレインボー・スプリングスなどが見どころ。

★ワイトモ鍾乳洞（Waitomo Caves）

ロトルアの西に位置する鍾乳洞の総称。別名グローワーム・ケーブと呼ばれ、発光性のツチボタルが多数生息している。洞窟の天井一面を青白い光で埋め尽くし、まるで星空のようである。

◆トンガリロ国立公園（Tongariro National Park）

北島の最高峰ルアペフ山（2,797m）など3つの活火山があるニュージーランド最初の国立公園。同国最大のタウポ湖とともに人気のリゾートである。北島のほぼ中央に位置し、1990年世界自然遺産に登録。その後、マオリの聖地としての文化的価値が認められ、1993年複合遺産として再登録。

◆エグmont国立公園（Egmont National Park）

円錐形の左右対称の美しさを誇る火山タラナキ山（標高2,518m）を擁する国立公園。多様な植生を見ることができる。

[南島]

●クライストチャーチ（Christchurch）

1850年に建設された南島の東海岸に位置する農牧業地帯の中心地。市街地をエイボン川が流れ、公園や庭園が美しく、ガーデンシティと呼ばれる南島最大の都市。アートセンター、ハグレー公園、植物園、カジノなどが見どころ。人口39万人。

※2011年2月の大地震により街のシンボルであった大聖堂は崩壊したが、修復されることが決まった。

★テカポ (Tekapo)

クライストチャーチから南西に車で3時間ほどのマッケンジー盆地にある小さな町。南には神秘的なミルキー・ブルーに輝くテカポ湖が広がる。湖畔には石造りの「善き羊飼いの教会」があり、11～12月に咲き乱れる紫やピンクのルピナスの花が見どころ。またこの近辺は、ユネスコの国際ダークスカイ・リザーブ（星空保護区）に指定された、世界に誇る星空観察スポットとして知られている。

◆アオラキ (クック) 山 (Mount Cook)

南島のほぼ中央に位置するニュージーランドの最高峰 (3,724m)。年間を通して周辺の気象が不安定なため、頂上を見るのは難しい。セスナ機やヘリコプターでニュージーランド最大のタスマン氷河を見学したり、スキーを楽しんだりすることができる。一帯はアオラキ・マウントクック国立公園となっている。

●クイーンズタウン (Queenstown)

南島の南部内陸部にある高原の避暑地。ミルフォード・サウンドなどのフィヨルドランド国立公園への玄関都市であるとともに、スキー・リゾートでもある。ワカティブ湖、ボブス・ヒル、アンダーウォーター・ワールド、キーウィ&バードライフ・パーク、ワーフ・カジノなどが見どころ。

★ワナカ (Wanaka)

クイーンズタウンの北北東約50km、ワナカ湖南端にある山岳リゾート。近年は別荘地としても注目されている。夏はアスパイアリング山の登山口であり、冬は周辺にあるスキー場への玄関口となる。

★ミルフォード・サウンド (Milford Sound)

南島の南西端、氷河の浸食によって造られた複雑な地形の湾（フィヨルド）の中心地であり、観光船による湾内一周ができる。クイーンズタウン又はテ・アナウを基地として観光する。

★テ・アナウ (Te Anau)

南島最大の湖であるテ・アナウ湖の南端にあり、ミルフォード・サウンド観光やトレッキング・コース「ミルフォード・トラック」の玄関口である。テ・アナウ・ツチボタル洞窟、絶滅に瀕している鳥タカヘ（ツル目クイナ科）がいるテ・アナウ・バード・サンクチュアリなどが見どころ。

◆ダニーデン (Dunedin)

南島の南東部に位置する港湾都市であり、スコットランド移民によって造られた町。ダニーデンは、エディンバラの古名。セントポール大聖堂、ダニーデン駅舎、ニュージーランド最古の市立美術館とオタゴ大学、近郊にある野生動物の宝庫オタゴ半島（羽を広げると3mにもなるアホウドリ（ロイヤル・アルバトロス）の営巣地がある）などが見どころ。人口13万人。

◆フィヨルドランド国立公園 (Fiordland National Park)

南島の南西部隅一帯を占めるニュージーランド最大の国立公園。フィヨルドのミルフォード・サウンドやテ・アナウ湖など多くのフィヨルドや湖を擁する。テ・アナウ又はクイーンズタウンを観光拠点とする。アオラキ・マウントクック国立公園、マウント・アスパイアリング国立公園、ウェストランド国立公園とともに「テ・ワヒポウナム（翡翠という意味のマオリ語）・南西ニュージーランド」という名称で世界自然遺産に登録されている。

◆マウント・アスパイアリング国立公園 (Mount Aspiring National Park)

ワナカを拠点とし、アスパイアリング山（標高3,027m）やボラックス山などの山を擁する国立公園。



タスマン氷河遊覧飛行

3. グアム

■正式国名：グアム島（ミクロネシアに属する）

Guam

■政治形態：米国準州（自治的未編入地域）

■面積：549km²（屋久島と同規模）

■人口：17万人

■言語：チャモロ語（公用語）、英語（公用語）

■通貨：アメリカ・ドル（1 USドル=157.9500円）

■住民：ミクロネシア系チャモロ人が45%、フィリピン系が20%、アメリカ系、中国系、韓国系など。

■宗教：カトリックが85%。

■地勢：北部は平坦な台地が広がり、南部はラムラム山（海拔406m）などの山が連なっている。

■気候：熱帯海洋性気候の特色を示す。乾季と雨季の差はあまりない。



- 観光：密林地帯のタロフォフォ川を双胴船で巡る。バイレーツ・コープをトラムで巡るエコ・ツアー（ジャングル探訪ツアー）
- 名物料理：ケラグエン（鶏肉、牛肉、タコ、エビなどをタマネギ、ココナッツ、ホットペッパー、レモンでマリネ）。ルンビア（春巻き）。パンシット（グアム風焼きそば）。レッド・ライス（アチョーテの実の赤い汁で炊いた赤飯）
- 土産品：貝殻のアクセサリー。民芸品。Tシャツ。チョコレート
- アトラクション：チャモロ・ビレッジ（マーケット）。ポリネシアン・ショー。イルカ・ウォッチング。マリン・スポーツ（ダイビング、ウィンド・サーフィン）。ゴルフ

◆グアム島（Guam）

東京の南南東2,500kmにあるアメリカ領の島、太平洋における重要な軍事基地。マリアナ諸島に属する島の政治と文化の中心は、西岸に位置するハガニア。その北東にあるタモン・ビーチには主要ホテルが林立し、観光客で賑わう。

- 恋人岬／島の象徴。タモン湾の北端に突き出た海拔約122mの景勝地。岬名は、スペイン統治時代にスペイン人との結婚を強要されたチャモロ女性が、恋人のチャモロ男性と断崖から身を投じたという伝説に由来する。展望台があり、周辺の公園内には恋人たちの像と鐘、ウェディング・チャペル、ギャラリーがある。
- ラッテストーン公園／ハガニアのスペイン広場の南にある公園。南部のフィナ湖から移された古代チャモロ遺跡の石柱が並んでいる。石柱が何であるかは、建造物の土台説が最も有力。
- タモン・ビーチ／島の中心部、ハガニアの北東にあり、遠浅の海と白い砂浜が人気のビーチ。周辺には多くのホテル、レストラン、ショップが建ち並び、夜遅くまで観光客で賑わう。
- アブガン砦／スペイン統治時代に造られた砦であり、別名サンタ・アグエダ。ハガニア湾と町並みが一望できる。スペイン軍の拠点であったが、第2次世界大戦中に日本軍の砲床として使われた。現在、大砲のレプリカが設置されている。
- マゼラン上陸記念碑／ポルトガルの探検家マゼランが西洋人として初めてグアム（ウマタック村）に上陸したことを記念し、1926年に建てられた石碑（高さ4m）。
- タロフォフォの滝／タロフォフォ川の支流に位置するグアム最大の滝（高さ12m、幅28m）。タロフォフォ・フォールズ・リゾート・パーク内にある滝へは、ロープウェイで行く必要がある。
- 横井ケーブ／元日本兵の横井庄一氏が終戦を知らずに28年間潜伏していた洞窟のレプリカ。タロフォフォの滝の近くにある。実際に生活していた洞窟はジャングル奥地の私有地にあるため、立ち入ることができない。
- バレー・オブ・ラッテ・アドベンチャー・パーク／タロフォフォ川河口にオープンしたスポットで、ジャングルの中を突き進むタロフォフォ川のクルーズや古代チャモロ遺跡の見学など、大自然とチャモロ文化の両方を楽しむことが出来る。
- ココス島／島の南端、メリッツォ村の沖合（約2.4km）にある小さな島。昔は陸続きであったが、地盤沈下により半島が海面下に沈み、その上にサンゴの美しいラグーンができたといわれている。グアム屈指の美しさを誇る海に安定した風が吹くので、ウィンド・サーフィンに最適である。

4. 北マリアナ

■正式国名：北マリアナ諸島連邦（ミクロネシアに属する）

Commonwealth of the Northern Mariana Islands

■政治形態：米国自治領

■面積：477km²（種子島と同規模）

■人口：5万人

■言語：英語（公用語）、カロリン語（公用語）、チャモロ語（公用語）

■通貨：アメリカ・ドル（1USドル=157.9500円）

■住民：フィリピン系、中国人、チャモロ人。

■宗教：カトリックが多い。

■地勢：サイパン島を中心として、テニアン島、ロタ島など、グアム島を除くマリアナ諸島で構成される米国自治領。北部マリアナの新火山島を除いては、すべてサンゴ礁に囲まれるか、あるいは隆起サンゴ礁を持つ古い火山島。また、その多くは環礁や卓礁の低いサンゴ島となっている。

■気候：熱帯海洋性気候の特色を示す。乾季と雨季の差はあまりない。

□観光：日本統治時代の史跡巡り。チャモリニアン・クルーズ。ジャングル・ツアー

□名物料理：チャモロ料理のケラグエン（肉やエビなどをライム果汁と香味野菜で和えたもの）。レッド・ライス（サイパン風赤飯）。ラチェン・ピカ（スパイシーなソースに漬けて焼いた鶏肉）。パンの実の団子

□土産品：貝殻。砂。民芸品（願いを叶えるボージョボー人形）。スポーツ用品

□アトラクション：チャモリニアン・ダンス。カロリニアン・ダンス。ファイアー・ダンス。カジノ（テニアン島）。マリン・スポーツ

◆サイパン島（Saipan）

面積185km²。東京の南南東2,300kmにあるサンゴ礁に囲まれた島。北マリアナ諸島の中心的な島。

○ブantan・サバネタ（旧バンザイ・クリフ）
／サイパン島最北端のサバネタ岬とラグア・カタン岬の間にある断崖。アメリカ軍に追い詰められた1,000人以上の民間人がバンザイと叫びながら80m下の海に投身自殺を図った。戦没者の霊を慰める塔や観音像がある。

○スーサイド・クリフ／マッピ山の北側の断崖。バンザイ・クリフと同じような悲劇が起きたところ。今では平和記念公園となっていて、観音像、展望台がある。

○日本軍司令部跡／マッピ山の崖下にあるコンクリートで固められた洞窟状のくぼみ。日本軍最後の司令部であったトーチカには、直撃弾の大きな穴が残る。

○グロット／サイパン島北端のマドック岬の崖下にあるダイビング・スポット。1.5km南には景勝地のバード・アイランドがある。

○砂糖王公園／砂糖キビ栽培と製糖における産業開発、貿易振興に貢献した松江春次の業績を称えて造られた公園。中央には高さ4mの

